



1学期のまとめ

【校長 太田 謙二】

連日、急に雨が降ったり、晴れたりと不安定な天気が続いており、近畿地方の梅雨明けが発表されるのは、まだもう少し先なのかなと思っています。気が付けば、もう7月。1学期の授業日数も残り10日余りとなりました。

保護者の皆様には、先月の授業参観・懇談会に、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございました。子供たちのがんばっている様子をしっかりと見ていただくことができよかったです。

さて、今年は、先月の19日にプール開きをすることができました。この日は、みんなのために、きれいにプール掃除をしてくれた5、6年生が、まずプールに入りました。その後、どの学年もほとんど抜けることがなく、なんとかプールに入ることができています。

子供たちは、日頃なかなか水中での運動の機会がないので、とても水泳の学習を楽しみにしています。水泳の学習は、水の中で浮く感覚を味わったり、水に対する恐怖心を克服することの喜びや「25m泳げた。」など達成感を味わったりできる貴重な学習です。また、水の事故から自分の身を守るという大事な学習でもあります。限られた水泳の学習を安全で充実した時間にして欲しいと願います。



このところ、厳しい暑さのため、暑さ指数が「厳重警戒」となり、子供たちが、運動場で遊ぶことができない日もあります。暑さ指数が高いと熱中症が気になります。特に外での活動には帽子をかぶり、こまめに水分補給をさせるなど、いろいろと気をつけながら教育活動を行っていきたいと思います。

1学期も残りあとわずかとなり、いよいよまとめの段階です。子供たちが、この1学期をいい形でしめくくり、夏休みを迎えることができるよう、教職員一同、しっかりと指導してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、何卒ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

